2019 年 10 月 24 日
次世代リーダー養成ゼミナール開講式　あいさつ

こんにちは

私は高知大学の教育担当理事をしております奥田一雄です。

令和元年度の第３回次世代リーダー養成ゼミナールを高知大学で開講するにあたり、ひとことご挨拶を述べさせていただきます。

大学の役割は、いうまでもなく教育・研究、それらを通じた人材育成、それから地域および国際貢献です。

大学の構成員は、学生と教員、そして職員からなっています。その中で、教員は学生を教え、研究し、社会貢献する、職員は教員と学生をサポートするというような単純な図式では決してありません。実際は、これら学生・教員・職員の３者が互いに密に連関し、一緒になって教育・研究・社会貢献を含む大学の諸活動を担っています。このことは、一般の会社や研究所、県庁などとは違って、大学がもつ固有の特性を示しています。

このような特徴ある大学の多様な諸活動を円滑に進めるための組織運営は、現実的には職員が支えています。それゆえ、職員の資質を高めることは非常に大切なことと考えております。この次世代リーダー養成ゼミナールを通して大学の組織運営や管理に関する知識や企画力・実践力などを身につけられた多数の職員がすでに大学等でご活躍され、一部の方々は SPOD の講師を務め、後進の育成にもあたられておられます。

今回は「第９期生５名、第 10 期生６名」が参加されると伺っております。
本日からの３日間、体調に留意され、充実したゼミナールを受講されますことを希望し、私の挨拶とさせていただきます。

以上